

なまずの会

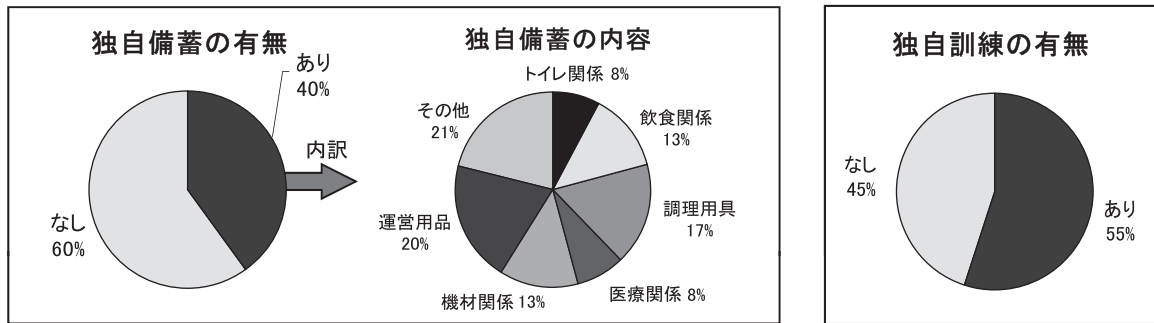
～広めようあなたと私の防災拠点～

なまずの会は、地域防災拠点について調査・研究しています。部会委員には、地域防災拠点運営委員会のメンバーもいますし、運営委員とはなっていない人もいます。それぞれの視点で災害時に求められる防災拠点について話し合いを重ねています。

これらの話し合いの中から、神奈川区に22ある地域防災拠点にアンケートをお願いし、現状と課題を調査しました。そのためにアンケートの内容を、防災備蓄庫に関するもの、拠点の運営に関するもの、防災訓練に関するもの、図上訓練に関するもの、そして、各拠点の問題点について、という項目で構成しました。

この集計により、ある程度の全体像が見えてきました。注目すべき点や、興味深い結果もありました。

このアンケートの集計結果詳細は「区民のつどい」にて発表させていただきます。



スケッチかながわ

「要援護者・支援可能者の緊急時地域ぐるみの把握」について

緊急時とは、地震などの災害時を指すだけでなく、普段の生活の中で支援が必要になる場合も指します。このような時に備えて、プライバシーに配慮しながら、要援護者や支援可能者を地域ぐるみで把握しておくことが、有効な支援対策につながると、私たちは考えています。

昨年9月から、一人暮らし高齢者所帯数、寝たきり高齢者所帯数などのデータ、要援護者支援マニュアル等々の資料収集を行いました。お身体の不自由な方から、「要援護者一人ひとりのニーズに、きめ細かに応えきれていない。」とのお話も聞くなか私たちは、このような活動を通じて、「緊急時においても、皆で安心して暮らせるまちをつくろう!」と、議論を重ねています。

今後は、アンケートやヒヤリング等による資料収集、討論・分析期間などを経て、地域でできることや、行政へ提言することなどを整理した成果物の作成へと取り組む予定です。

近々、区民の方へ、生活者の目線に立った要援護者と支援者のニーズ把握を目的に、アンケートを行うことを考えています。

